

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	257	学校名	仙台市立茂庭台中学校	校長名	菊地 淳
------	-----	-----	------------	-----	------

1 取組のテーマ 「身近なところから取り組む環境教育」



2 取組の紹介

(1) ペットボトルキャップ回収活動

生徒会執行部が、数年前からリサイクルの促進や売却益による発展途上国へのワクチンを送る目的でペットボトルキャップの回収活動に取り組んでいます。毎月1回、クラスごとに回収箱を設置し、回収を行っています。家庭や地域の方々にも協力をいただき、今年度の12月までには約77kgのペットボトルキャップを回収して寄付することができました。約860個で一人分のポリオワクチンを送ることができることや手軽に集めることができることから、生徒たちも意欲的に取り組んでいます。生徒だけでなく教職員も意欲的に取り組んでいます。

学級	11月	12月	1月	2月	合計
1-1	933				
2-1	1583				
3-1	1161				
3-2	3176				
いっせい	0				
月合計	6853				

約400個(約4kg)でワクチン1人分に!

(2) 地域清掃

生徒会執行部、環境委員会が中心となり、地域清掃に取り組んでいます。朝に学校を出発し、地域の方と挨拶を通して地域交流を図りながら地域に落ちているゴミを拾っています。徐々にボランティアとして参加する生徒も増え、奉仕の精神も育まれています。



(3) ゴミの分別活動

仙台市のゴミ分別収集方針を受け、各教室、職員室を含め普通ゴミとプラスチックゴミを分別して回収しています。ポスター掲示を通してゴミの分別活動の大切さを伝える活動にも取り組んでいます。



3 取組の成果

本校では「身近なところから取り組む環境教育」というテーマで環境美化活動やリサイクル活動に取り組んでいます。これらの活動を通して、生徒の身の回りの環境美化に対する意識がより高まっています。SDGsへの関心も高まってきており、「こんなにキャップが集まるんだ。」「他に家でもできることは何かあるかな。」などの声も聞こえるようになり、学校内にとどまらずに家庭でもできる環境活動を自ら考えられるようになってきています。